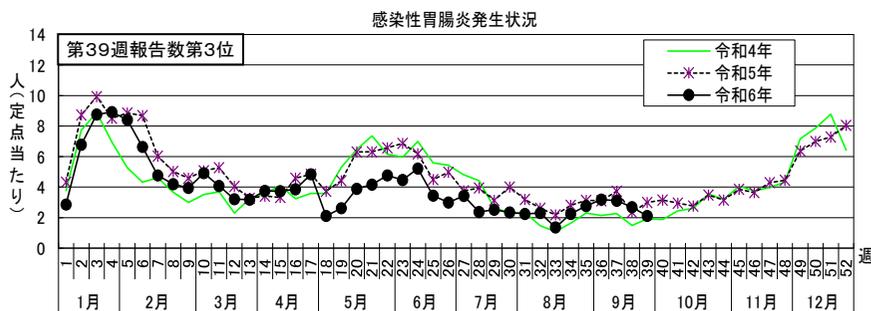
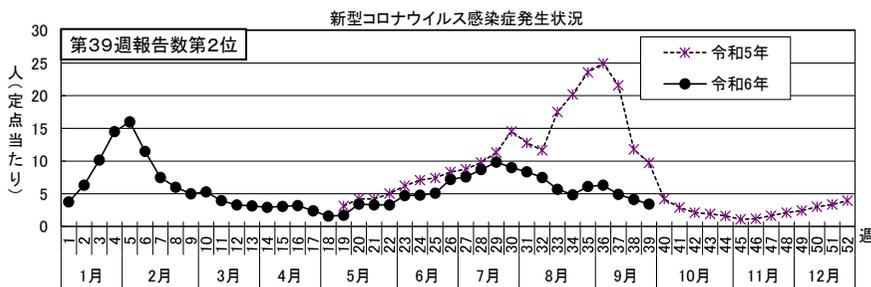
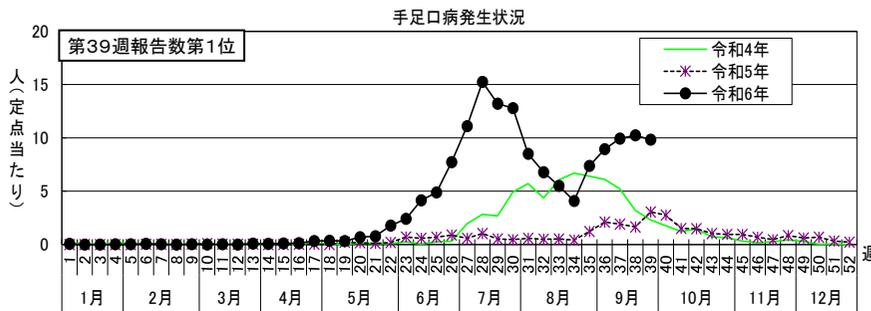


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年9月23日（月）～令和6年9月29日（日）〔令和6年第39週〕の感染症発生状況

第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は9.84人と前週（10.25人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.43人と前週（4.12人）から横ばいでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.69人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



高齢者対象のインフルエンザ及び新型コロナワクチン定期接種を開始！

川崎市では令和6年10月1日から、高齢者を対象としたインフルエンザ及び新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種を開始しました。いずれのワクチンも免疫を獲得するまで2週間程度かかるため、流行前に接種を済ませておくことが重要です。

川崎市における令和6年第39週（9月23日～29日）のインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、各0.89人、3.43人と、現時点では急激な増加はみられていません。しかし、両疾患とも例年秋から冬にかけて報告数が増加するため、接種対象の方は早めの接種を御検討ください。

川崎市におけるインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数（令和5年第19週～令和6年第39週）



高齢者を対象としたインフルエンザ及び新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種

◆対象者

川崎市内に住民登録のある方で、次の①又は②に該当する方

- ①接種日に65歳以上の方
- ②接種日に60歳～64歳の方
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）を有する方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）を有する方

◆実施期間と回数

令和6年10月1日から令和7年1月31日までの間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関

◆自己負担金

インフルエンザワクチン：2,300円（税込）
 新型コロナウイルスワクチン：3,000円（税込）

※詳細は川崎市ホームページをご覧ください。

